

令和 7 年度小論文試験 学校推薦型選抜（A 推薦， B 推薦， C 推薦），
総合型選抜， 帰国生選抜， 社会人選抜， 国際バカロレア選抜（畜産）
（試験時間 9 0 分）

問 1. ボディマス指数 (BMI) は体重 (kg) を身長 (m) の 2 乗で割った値であり， 肥満度を表す指標である。BMI18.5 未満がやせの者， 25 以上が肥満者とされている。図 1 は我が国の 2019 年における男性および女性のやせの者， 肥満者の割合を年齢層別に示したものである。また， BMI は単にやせや肥満の指標であるばかりでなく， 健康状態とも関係性があると言われている。表 1 は我が国における BMI が 23 以上 25 未満の者の全死亡リスクを 1 とした時の， 性別・BMI ごとに全死亡リスクの相対値を示したものであり， 右肩の*は全死亡リスクが統計学的に高くなっていることを示している。

これらの図表を見て我が国ではどのような健康上の問題があり， 健康維持にはどのような指導が有効であると考えられるか， 性別や年齢層に注目して考察し， 200 字程度で述べなさい。

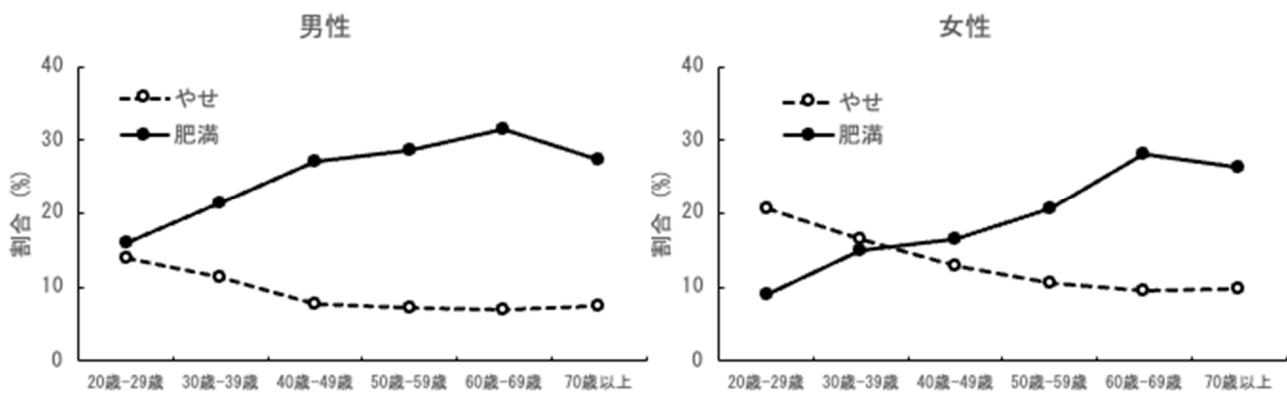


図 1. 年齢別のやせの者・肥満者の割合（2019 年 国民健康・栄養調査より作成）

表 1. BMI ごとの全死亡リスクの相対値

BMI	男性	女性
14 以上 19 未満	1.78*	1.61*
19 以上 21 未満	1.27*	1.17*
21 以上 23 未満	1.11*	1.03
23 以上 25 未満（基準）	1.00	1.00
25 以上 27 未満	0.94	1.04
27 以上 30 未満	1.07	1.08*
30 以上 40 未満	1.36*	1.37*

BMI が 23 以上 25 未満の者の全死亡リスクを 1 とした時の相対値で表し，*は統計学的に 1 よりも高くなっていることを示す（Sasazuki *et al. J Epidemiol* (2011)より作成）

問2. 下の図表は、図2:栄養失調による死亡率、表2:各国における1人あたり国民総所得と食費額、図3:1955年から2050年までの地域別の人口の推移、をそれぞれ示している。世界的な食糧事情の現状と将来について、これらの図表から読み取れることを300字程度で記述しなさい。

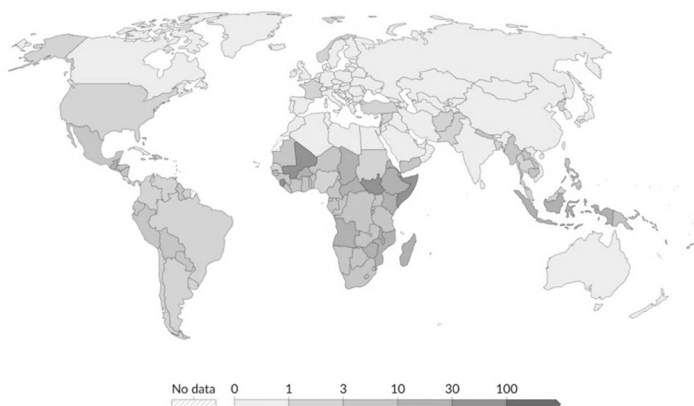


図2. 栄養失調による死亡率（2022年）

人口10万人あたりのタンパク質エネルギー栄養失調による推定死亡率を示す。

出典：IHME, Global Burden of Disease (2024)

表2. 各国における1人あたり国民総所得と食費額

国名	国民総所得 米ドル	食費額 ¹⁾ 米ドル
ケニア	2,067	1,172
ドイツ	50,804	5,995
バングラディッシュ	2,629	1,385
日本	36,337	4,942
アメリカ合衆国	77,087	5,165

1)食費額は家計に占める食費（家庭内での消費のみ）を示す。

国民総所得データは National Accounts - Analysis of Main Aggregates (2022)から取得、食費額は国民総所得データおよび Our World in Data (2022)の家計に占める食費の割合から独自に算出した。

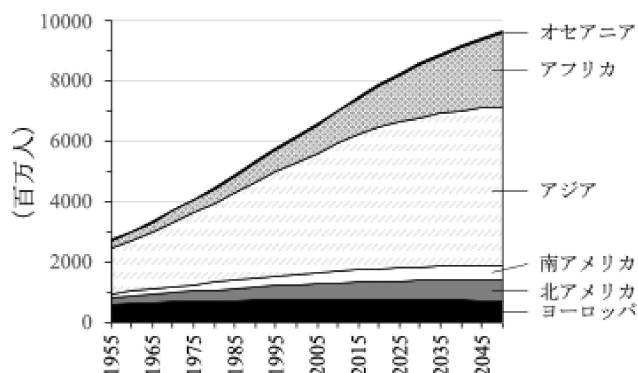


図3. 1955年から2050年までの地域別の人口の推移（2024年以降のデータは推定値）

出典：HYDE (2023); Gapminder (2022); UN WPP (2024)

問3. 問1で取り上げた、我が国における食と健康問題と、問2で取り上げた、世界的な食糧事情には大きな隔たりがあると考えられる。この隔たりを埋めるためのあなたの考えを400字程度で述べなさい。